

第2回甲府市多文化共生推進委員会会議録

- 1、開催日時 令和2年3月9日（月）午後2時～
- 2、開催場所 甲府市役所本庁舎8階 会議室（8-1、8-2）
- 3、出席者 委員7名
長坂香織委員長、萩原孝恵委員、兼清慎一委員、越石寛委員、
渡邊康雄委員、伊藤好彦委員、赤池ミッシェリ委員
事務局4名
高野（市民総室長）帯金（市民課長）、青木（受付課長補佐）、
雨宮（受付係長）
- 4、欠席者 奥村圭子委員、徐芸委員
- 5、議事 (1) 令和元年度 多文化共生推進事業実績（見込）について
(2) 令和2年度 多文化共生推進事業計画（予定）について
(3) 令和2年度 多文化共生推進スケジュール（案）について
(4) その他

6、議事進行

【事務局】

令和元年度 第2回甲府市多文化共生推進委員会を開催いたします。

議事の進行は、長坂委員長にお願いしたいと思います。

【委員長】

議事（1）について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

議事（1）令和元年度 多文化共生推進事業実績（見込）について説明。

【委員長】

皆様からご意見はございますか。

【委員】

日本語会話・異文化体験サロンのところで企業から要請があって行った。とありますが、非常に良いことだと思います。外国人の団体やグループの方々にもどのように行政が接触していくかという部分で非常に難しいところがありますので、こういう取り組みを進めていくことでより多くの外国人の方と接触していけるので良いことだと思います。

【委員長】

企業はどこの国籍の方が多かったですか。

【事務局】

ベトナムの方です。

【委員長】

窓口にはベトナム語の通訳の方はいらっしゃらないので、そういうところでいろいろな情報の提供もしていくとよいと思います。

【委員】

やさしい日本語での対応が増えているのはとてもよいことだと思います。「やさしい日本語」という言葉がいろいろなところで聞かれるようになってきたことは大きな一歩であり、

期待できる部分であると思います。

社会参加の部分で、企業に出向いてサロンを行ったとあり、先ほどベトナムの方が対象と
のことでしたが、その企業に勤めている日本人の方たちも参加されたのでしょうか。

【事務局】

企業の人事担当の方2名が参加です。

【委員】

日本人と外国人が半数ずつくらいで行うとさらによいと思います。

留学生の合同企業説明会は、時期を検討していただければ、もっと参加しやすくなるの
ではないかと思います。

【委員長】

日本人も相手の状況を知っていくということが、共生につながっていくことになり、非常
に大切なことなので、企業の方にも声掛けをして今後発展させていただくとよいと思いま
す。

【委員】

実績に、多言語の冊子を渡したときなどの対象者（外国人）からの意見やコメント等の反
応を書いていただければ、より実績の中身が充実するのではないかと思います。そうするこ
とで次の担当者の考え方の中に反映されていけばよいのではないかと思います。

【委員】

ハザードマップを作成したという実績があり、昨年10月に台風19号があり、私もホ
ームページを見て、情報を検索しようとしたときに、非常に難しい日本語で書かれているペ
ージが多く、知りたい情報になかなか行きつけませんでした。この件については確かメール
でお伝えした記憶がありますが、課題や問題点にそのあたりは全く反映されないのではし
ょうか。甲府市のホームページは日本人でも難しいと感じました。やさしい日本語での対応を
検討していただければと思います。

ただ、「やさしい日本語」と今ここで簡単に言っておりますが、実際にはなかなか難しい
かもしれませんので、まずは漢字にルビをふるとか、ホームページを見やすくするといった
ことを検討していただければ有難いです。日本人であっても、行政の文章は難しいというこ
とを、改めてお伝えしたいと思います。

【事務局】

確かにメールでいただいております。再度、事務局から伝えます。

【委員】

命にかかわることですので、まずはやさしい日本語での対応もそうですし、こういった状
況であっても知りたい情報に誰もが簡単にアクセスできるような形にしていただけたらと
思いますので、ぜひお願いします。

【委員長】

その際に情報の取捨選択というのも大切だと思います。やさしい日本語は一番取り組ん
でいただきたいところです。

【委員】

「フェーズフリー」という考え方があり、災害が起こった時に対応するのではなく、普段

からフェーズフリーの考え方で防災を考えていく。また、防災だけではなくホームページも市民の高齢者や子どもにもわかりやすくすることで外国人にもわかりやすいホームページになるのではないかと思います。外国人対応というように分けて考えるのではなく、普通の市民に対してもわかりやすくしていくことが必要であると思います。

【委員】

防災・防犯活動への参加促進・意識啓発について、外国人住民の参加については、事業主の協力が大きいと思いますので、協力を依頼していくことが大切であると思います。

【委員】

甲府市で外国人を雇用している企業の情報はあるのでしょうか。防災のことを考えるにおいては必要な情報であると思います。

【委員会】

外国人の雇用リストは、多文化共生を進めていくうえで役に立つのではないかと思います。

【委員】

国と地方自治体との情報共有をしなければならぬと訴えていかないといつまでも解決しないと思います。

【委員】

県や市だけでなく、企業も含めて情報連携ができるとよいと思います。

【委員】

来年の県の予算で新しい事業として 多文化共生コーディネーター設置事業というものがあります。その事業は国際交流協会が委託を受けて実際に運営することになります。多文化共生コーディネーターの役割は外国人の方々を支援する団体、個人をつないでいくということになっています。国の機関、市町村、派遣会社、学校、自治会、個人などを伺い、外国人支援は何をしたらよいか、どういうことができるのかということを含めて情報をつなぐということです。具体的に何をするのかは見えませんが、様々な場所に伺いお話を聞く。コーディネーターが収集した情報はその人の情報であるので、情報提供元が承知をすれば公開することができると思います。こういったことを活用してもらいたいと思います。

【委員】

商工会議所においても、独自で会員企業に対して、外国人の雇用はありますか等の調査はしていこうと考えています。

【委員長】

企業のこと大切ですが、同時にどの言語の住民がどの地域に集住しているかということも把握できるとよいと思います。

先ほどの高齢者や子どもに対してもわかりやすくすることが外国人にもわかりやすくなる、あるいはその逆で、外国人に分かりやすくすることが高齢者や子どもにも分かりやすくなるということについて、市役所職員で共有していただきたいと思います。

ほかにご意見はありませんか。

次に、議題（２）について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

議題（２）令和２年度多文化共生推進事業計画（予定）について、説明。

【委員長】

皆様からご意見はございますか。

【委員】

計画ができた当初からどこが変わったのか、あるいはどこが変わっていないのかがわかる資料をいただきたいと思います。

【委員長】

５年前の状況と現在の状況が比較できるような資料をお願いします。これまでの評価をするために必要だと思えます。

【事務局】

資料を作成し、来年度提示したいと思えます。

【委員】

自治会でゴミの出し方のポスターは、絵で描かれていてとても分かりやすいという話がありましたので、そういうことを増やして行ってほしいと思えます。

【事務局】

市役所内で周知していきたいと思えます。

【委員】

学校教育のところも記載されている内容がより具体的になっておりますので、期待ができると思えます。高校進学ガイダンスの際には、甲府市ホームページや『広報こうふ』への掲載をしていただきありがとうございました。

【委員長】

家庭訪問をするのはとてもいいことだと思えます。浜松市も家庭訪問をした結果、今不就業児動がゼロになっているところですので、ぜひ頑張ってくださいたいところですよ。

【委員】

外国人も高齢になっていくので、介護保険、防災の関係などはやさしい日本語での対応も増やしていただきたいと思えます。

家族がいない外国人や病気等で働けない方もいます。そういう方は生活保護を受けることとなります。今後そういう人が増えていくと思うので、考えていかなければならないと思えます。

【委員長】

特に年を取ると、子供のころに話していた言語に戻ってしまい、日本語が話せなくなってしまうので、言語を含めて対応を考えていかなければならないと思えます。

今、日本人の孤独死が問題となっていますが、これから外国人の孤独死も出てくるのではないかと危惧しているところですよ。とりわけ 1990 年代に来日した方たちでは高齢者が増加しています。

【事務局】

庁内の会議で意見があったことを報告したいと思えます。

【委員長】

ほかにご意見はありませんか。

次に、議事（3）について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

議事（3）「令和2年度 甲府市多文化共生推進スケジュール（案）」について説明。

【委員長】

皆様からのご意見はございますか。

【委員】

新型コロナウイルス対策はどうなっていますか。

【事務局】

ホームページで国の情報にリンクできるようにしています。

【委員】

災害や今回のようなウイルスの時には、正しい情報をどうやって得るかが問題になってくると思います。県や市の情報を正しく周知するためには、キーパーソンがいるとよいと思います。

【委員】

次の計画の際には、情報発信の手法の一つで「キーパーソンを活用した適切な情報発信」等を設けるとよいのではないですか。

【委員】

推進委員会と策定員会のスケジュールについては、柔軟な対応をお願いします。

【委員長】

ほかにご意見はありませんか。

ご異議がないようですので、このスケジュールで進めてまいります。

次に、議事（4）「その他」ですが、委員の皆様から何かございますか。

事務局から何かございますか。

【事務局】

先ほどのスケジュールの説明にもありましたが、委員の皆様は任期は5月末までですので、任期中の委員会は本日が最後になります。

【委員長】

それでは以上をもちまして、本日予定しておりました議事はすべて終了となります。

【事務局】

これをもちまして「第2回甲府市多文化共生推進委員会」を終了させていただきます。